



今回取材に協力いただいたダイヤモンド社のシニアセールス
ヒース・マニング氏



ダービーシティクラシックのオフィシャルテーブルでもある

このメイプルが特徴的なテーブルは？
M これがプロフェッショナルです。メイプルの他にオーク材の選択もできますし、テーブルの角の部分は、丸みを帯びた形か、45度にカットされた形から、足の形も何種類から選択できます。さらにこのテーブルにPRCのレールを付けることもできますが、色はエスプレッソか黒のみになります。その他に椅子、キューラック、ライト全てをテーブルにマッチするように同じ色でコーディネートする

ポケットサイズは4種類

M 私達はスマートテーブルと呼んでいます。現金だけでなく、プリペイドカードや、クレジットカードで支払いができるシステムの製作を行っています。

M ものすごい数ですね！
M そして現在、このコインテーブル、私達はスマートテーブルと呼んでいます。現金だけでなく、プリペイドカードや、クレジットカードで支払いができるシステムの製作を行っています。

メインの製品ライン

ダイヤモンドが現在何種類のテーブルを製作しているのですか？
ヒース・マニング（以下、M） ダイヤモンドの主力商品は『PRO-AM』、『プロフェッショナル』、『スマートテーブル（コインテーブル）』、『パラゴン』と言われる個人宅向けのテーブルです。PRO-AMには、通常の木製の他に、『ダービーシティクラシック』でも使われているPRC使用のテーブルがあります。PRCというのはフェノリック樹脂コンポジットで非常に硬いのが特徴です。
— テーブルのどの部分に使われているのですか？

M PRCはレールの上部と横のスカートと呼ばれる部分に使用されています。このモデルはビリヤード場やトーナメントなどに最適です。レールの上にボールが落ちても、ショットする時にベルトの金属バックルなどでレールや横のスカート部分を擦ったとしても傷が付きません。お客さんがテーブルを傷つけないかとヒヤヒヤしながら見守る必要はないのです。2014年から販売しています。
— 今北米で注文したらどのくらいで届きますか？
M 8ヶ月から1年はお待ちいただくかなければなりません。今年からAPA（American Poolplayers Association）と5年契約を結んだので340台の7

ことも可能です。

— ライトの光源は何なのでしょう？

M ダイヤモンドのライトはLEDパネルを使用しています。5000ルーメンで40ワット。太陽と同じ色温度にしています。さらに特殊なディフューザーを使用することによりテーブル上に均一な光を届け、ボールの影を目立たなくしています。

— テーブルに戻りますが、ポケットの大きさは変えられるんですか？

M はい、ポケットサイズも選択可能です。



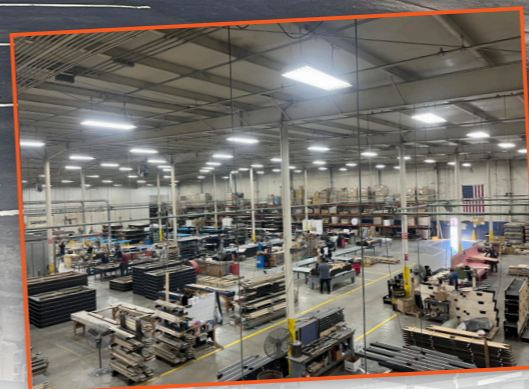
プロフェッショナルはダイヤモンドの
主力テーブルの1つ

Playability Is The Top Priority! 初潜入！本場のビリヤードテーブル工場

ダイヤモンドPRO-AMが できるまで！

ダービーシティクラシックの会場からもほど近い、
インディアナ州・ジェファーソンビル。
ここに、アメリカ国内のみならず、世界中で
トーナメントテーブルとして使用され、ますます注目が高まっている
『Diamond Billiard Products, INC.』（ダイヤモンド社）の本社工場がある。
今回は初めてその現場を訪問し、ダイヤモンドテーブルの特徴やこだわり、
さらにダイヤモンドテーブルができるまで取材した。

取材・写真・文／森覺摩 取材協力／Diamond Billiard Products, INC., NEWART



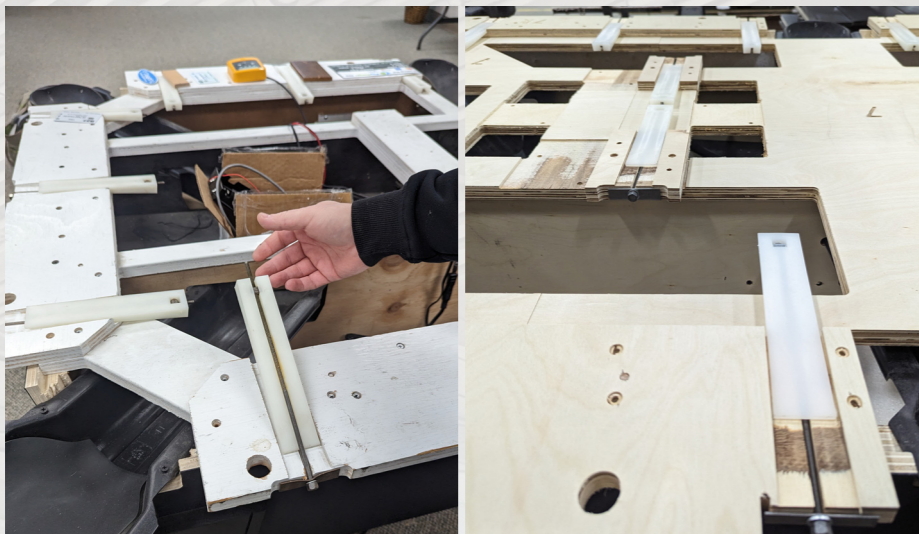
プレイヤーズテーブル！

ダイヤモンド社は1987年にケンタッキー州レイビルのプールプレイヤーの数人が、国内及び世界のトーナメントでプレーの標準となる、高品質とクラフトマンシップにおいて他を圧倒するテーブルを作るというアイデアを元に小さな会社を設立しました。
この目標を達成するために3つの戦略的要素があります。

- ①メジャー大会で使用される
- ②経験豊富なトッププロの意見やアドバイスによりプレイヤーティを高める
- ③上記を踏まえて機能追加や改良による性能向上

例えばポケットの難易度や締め具合を決める「カットアングル」や「ポケットサイズ」などの仕様は、常に変更され、最高のプレイヤーティを追求しました。その他の機能についても、同様に改良を加えています。

ダイヤモンドテーブルは誕生以来、100を超えるメジャートーナメントで使用され、テーブルには多くの変更と改良が加えられてきました。ダイヤモンドは、単なるメーカーではなく、プレイヤーによってプレイヤーのために設計され、さらに他のテーブルにはないデザイン性を備えており、トーナメント、商業プレイヤー、家庭用テーブルとして業界のスタンダードとなっています。



独自のレベリングシステムが大きな特徴

ン構造も見てきました。非常にハイレベルな製品だと思えます。しかし、レベリングシステム、構造材の太さ、耐久性、全ての項目において、ダイヤモンドの製品はさらに高いレベルにあると思えます。

——自信をお持ちなんですね。

M 現在需要に供給が追いつかない状況です。もしあなたがプレデター推しな

す。カジュアルなプレイヤー、老人ホームやコミュニティセンターに置くような場合は、47.5インチ（1206.5センチ）、ビリヤード場で、トーナメントやリーグプレーをしているなら標準の45インチ（1143センチ）、さらにプロカットと言われるものがあり、42.5インチ（1079.5センチ）と41.25インチ（1047.5センチ）になります。

——ダービーステイに設置してあるテーブルのポケットサイズは？

M 全てポケットサイズ42.5インチのスマートテーブルです。ただし、10フィートテーブルは45.5インチ、まさにプロ仕様です。

——10フィートでそのポケットサイズだと本当に難しいですね。

M そう言えば、ポケットの開口部の大きさを測る方法をご存知ですか？ 多くの方はこんな風にボールを2つテーブルに置いて見えますね。でもそれは正しくありません。このテーブルのポケットサイズは45.5インチ、ボールは1つ22.5インチ。ボールを少し持ち上げて一番幅の広い部分をクッションの入り口に当てて見ると、ぴったりでしょう？

プレーアビリティが最優先

——もし既に持っているテーブルのポケットサイズを変更したいという場合クッションを継ぎ足すようなことは可能ですか？

M クッションの先にシム（詰め物）を

貼り付けるようなことはしません。理由は伸ばした部分はレールのサポートが無いので、ボールの反射がその部分だけ変わってしまうからです。どうしてもポケットサイズを変更したい場合は、ポケットサイズに合わせたレールを作り直します。注文時に標準以外のポケットサイズを指定することができますが、500ドルの追加料金がかかります。なぜかという、そのためにラインを止め、CNCのプログラムを変更する必要があります。もし既に持ち前のテーブルのポケットサイズを変更したい場合は、レールを全て交換しなければならず、その費用は、2800ドル程度かかります。ダイヤモンドテーブルのプレーアビリティを保つためには必要です。

——スレートはこの物を使用されているのでしょうか？ 国により品質の違いがありますか？

M 以前はイタリアのもの、ブラジルのものを使用していました。現在はブラジルのもを使用しています。品質に差はありません。ちなみにダイヤモンドテーブルでは全て1インチの厚みです。9フィートテーブルでは1枚ものスレートか、3枚かを選べます。テーブルの重量は544キロになります。

——他にテーブルの特徴などはありますか？

M ダイヤモンドテーブルの最大の特徴はこの「スレートレベリングシステム」です。他社のテーブルでは真似できません。くさびに付いているこのネジを回す

らプレデターのテーブルを買うでしょう。ダイヤモンド推しならダイヤモンドテーブル。しかし、もしプレーアビリティ、耐久性、品質、素材、北米製、それらにこだわるならダイヤモンド一択でしょう。私達の製品は重厚で、最高のレベリングシステムを持っています。もちろん他社もリスペクトしていますが、80年代からテーブルを作り続けている私達の製品を凌ぐことは簡単ではないでしょう。さらに、北米で多くのプレイヤーに支持されているという事実は非常に重要です。他社がマーケットのシェアを取るには時間がかかるでしょう。

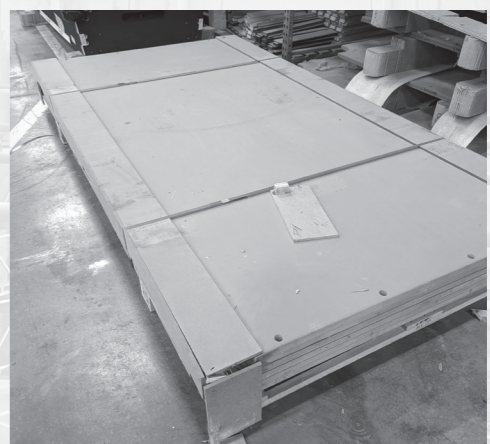
——販売戦略についてはいかがですか？

M セールスのストラテジーはと言えば、今までやってきたことを続けていくだけです。なぜならそれでうまくいっているから。他社は、私達に追いつくためには大変な努力が必要でしょう。なぜなら私達の製品は常に進化しているからです。現状に留まることなく常に改善しています。常に最高の製品を届けたいと思っています。今計画で、まだお話しできないこともあるのですが、今後もその姿勢は変わりません。

PRO-AMが「こだわりの集積！」

——今日はダイヤモンドならではのこだわりが見られて良かったです。

M まず、レベリングシステムは本当に一番の特徴と言って良いでしょう。本当



スレートは1枚ものと3枚組み合わせの2種類

最高の製品を生む絶対的な自信

——プレデターから『APEX』テーブルが発売されましたが、御社の経営戦略に何か影響はありましたか？

M 私達ダイヤモンドは、北米で一番のテーブルを作っていると自負していますが、同時に謙虚にプレイヤーが求めているプレーアビリティを追求しています。競合があることは良いことです。彼らは海外で作成輸入しています。そのデザ

——凄いいシステムですね！

M レベリングシムは中央にも備えられていて完璧な水平の面を出すことができます。3ピースのスレートの場合も全てを完璧に調整することができます。自

に簡単に調整できます。ほとんどの人が一枚物のスレートなら水平を保っていると思っただけですが、どんなスレートでも正しく保持されていないとたわんでしまいます。スレートにストレスを与えてしまうと割れることさえあります。天然素材だからね。だからこそレベリングシステムは重要なのです。製品の耐久性やプレーアビリティにも大きく影響します。スレートの高さを厳密に調整し、ボールが正しい高さでレールに当たらないようにしなければなりません。どんな小さな差でもプレーアビリティに影響してしまうのです。プレイヤーが望むのは最高のプレーアビリティです。それを実現しているのがダイヤモンドのテーブルです。長い年月をかけ、沢山の失敗と成功を重ねてきました。今後も製品の改善は止まることではないでしょう。

——そして、こだわりはまだあるんですね。

M テーブルを下から覗いてみてください。この黒いフレームはティンバーウッドで作られています。ティンバーウッドは鉄よりも強いのです。スレートの重量を支えるためにはこの非常に高価なティンバーウッドを使うことが重要です。それにより高いプレーアビリティを実現しています。他社のテーブルではラシャはステープルで固定されていますが、伸びてしまう場合があります。ダイヤモンドテーブルではラシャを専用の接着剤で固定しています。固定されたラシャが剥がれることもありません。ラ



開口部から見たボールリターンの中央部

シャが緩くなる原因は湿度が高くなった時だけです。もう一つの特徴はボールリターンの中央部分はラバーで覆われているため、ボールにも優しくボールリターンの消音化にも繋がっています。

——最後に、日本のプレイヤーからの質問なのですが、チヨークをポケットに落とししまった場合に簡単に取り出す方法はありますか？

M PRO-AMにはラックを納める部分と、ヘッド側の同じ部分に穴が空いていて、ここからボールが通る中央部分にアクセスできます。もしコーナーポケットに落としてしまったらポケット側から取れない場合は、この穴にキューを2本箸のように入れてつまみ出すことができます。

動画で見る『ダイヤモンドテーブルができるまで!』

本記事で紹介したレベリングシステムや工場内での製作風景など、ダイヤモンドテーブルの現地での取材動画が、YouTube『ビリヤードCUE'Sチャンネル』でご覧いただけます。記事と合わせてぜひご覧ください！



Process 5 塗装

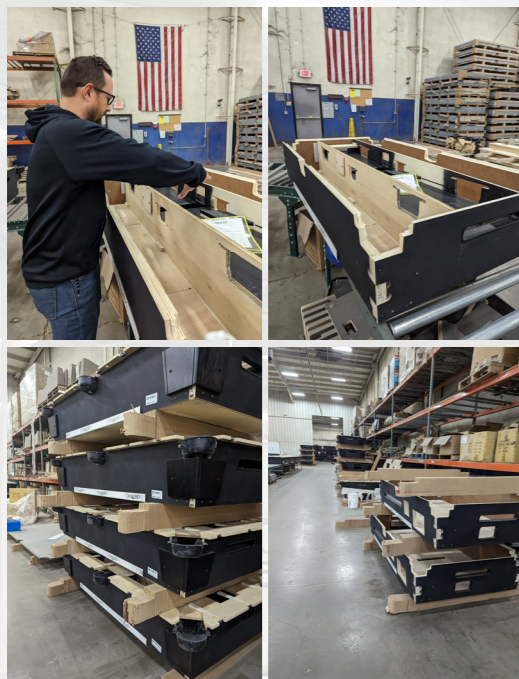


各部の塗装が行われる



ロゴの部分は手作業で塗られている

Process 6 組み立て



その他本体部分も徐々に組み上げられていく

ここでレールが組み上げられていく



レールとスカート部分が組み合わされる

組み上がったレールは次の工程で表面処理される。つなぎ目の部分をスムーズに外側から3段階に分け、ヤスリを掛け一体感が出るように仕上げていく



Process 7 保管と出荷



これらはトナメントなどで使われるテーブル。このような形で保管されている



テーブルの裏側。輸送時は脚を外して、このドアを開けて中に保管する



北米へ製品を届ける場合は、このようにカートに載せた状態で届けられる

【見学を終えて】

全ての工程は、厳格な基準に基づき、この工場一つ一つ手作業で組み立てられ、厳しい仕様を満たすためのテストが何度も行われていました。このような厳格な仕様と、多くの職人の手仕事により、ダイヤモンドテーブルは決して大量生産されることなく、一台一台、最高の品質を保証できる量しか生産されません。

ダイヤモンド社のチャド副社長、マニング氏、バーガー氏に工場見学の機会をいただいたおかげで、製品の品質や技術の高さについて深く理解することができ、大変貴重な経験となりました。心から感謝の意を表します。

That's American Craftsmanship!

ダイヤモンド工場見学!

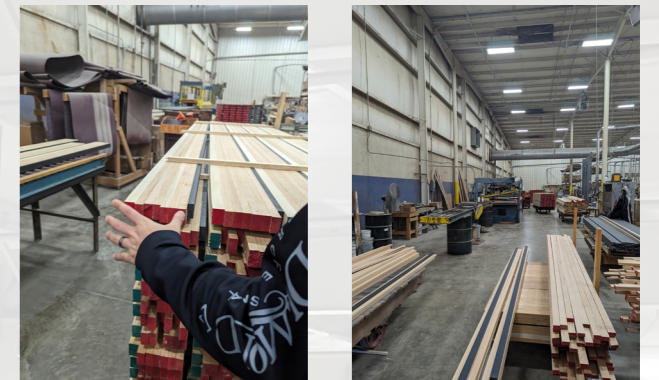
60人ほどのクラフトマンが、素材の加工から組立てまで行い、1日に40台~50台のテーブルが作られているダイヤモンド社の本社工場。今回、ご厚意により、実際にテーブルを製作している現場を、工程ごとに説明を頂きながら、特別に見学させていただくことができた。

Process 2 脚の組み立て



脚を組み立て工程。カットは機械が行うが、組み立ては全て手作業で非常に時間がかかる工程

Process 1 素材



これはレールになる素材。木材を張り合わせることで強度を上げている



工場内の一角に置かれている素材となる木材

Process 3 レールの加工



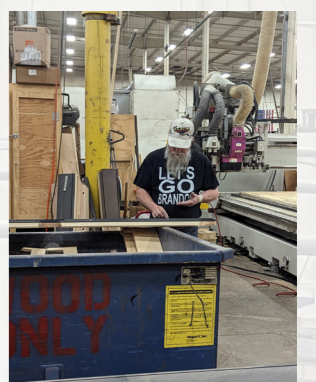
この機械で先程のレール部材をレールの形に削っていく



削られて下塗装されたレール



次にCNCマシンによってポケットの入り口や各部が削られていく。テーブルの他の部品もこのマシンで加工される



レール上にダイヤモンド(ポイント)を埋め込む。材質は非常に硬質なプラスチック

Process 4 部品加工完了



全ての部品がカットされると組立工程に進ばれます。